

私のメイドは少し  
変わった女の子だ

いつも冷静で真面目  
とても仕事ができそうな  
雰囲気なのに

まさか財布を  
忘れてくるなんて…

何かとミスが多い  
…今日も買い物に来たのに  
財布を忘れてきてしまった

お嬢様  
大変申し訳ありません…

もう

仕方ないんだから  
次したらほんとに  
怒るからね？

いえ

それでは申し訳が  
たちません…

でも彼女の本当に  
変わったところは  
別にある…

それはいつでも  
どこでも

…本当にここですか？

はい

どうかこの場で愚かな  
メイドを罰してください

私にお仕置きを  
求めてくるところだ

はい…

んっ

もう…

声抑えてね？

この体に刻み込んで  
ください…

この子なりの反省の仕方  
なんだけどちょっとずれている

けれど…

ゆる

ぴん



…んっ

んあっ  
おおっ

声出しちゃダメって  
言ったでしょ？

罰としてもっと  
激しくするからね？

なんて思っても  
この子の反応は私の  
理性を崩すには十分だった

いけないと思えば思うほど  
背徳感が私を支配して  
夢中になってしまう…

ふふ…

立ってられないの？

ひく…

…っ

んあ

こんなに可愛い姿を  
見せられたら

抑えることなんて  
できないよ…

でもごめんね

ちょっと加減  
できないかも…

まだまだお仕置きは  
終わらせないからね…？



いつもと違う  
外でのお仕置き…

んっ…

ねえ

いつもより興奮してるね？

ここ  
すぎでしょ？

はい…

私自身もいつもより  
興奮してしまう…

あ

ん



もっともっ

この子の乱れる  
姿が見たい

んむ

んん

んっ  
んっ

ん…

んっ  
んっ

お嬢様…  
もっと減茶苦茶に  
してください…



ん…あ  
あ

そうだよ…

もっと私に全てを  
曝け出して



いっぱい私に  
可愛いところを見せてね？











